

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

平成26年 11月20日 NO. 104

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA

目次	●平成26年度 第3回理事会	2
	●平成26年度 新任単位クラブ会長研修会	3
	●平成26年度 シルバースポーツ大会	4
	●平成26年度 社交ダンス大会	5
	●女性リーダー一泊交流研修会／女性委員会交流研修会	6
	●第36回全国老人クラブ女性リーダーセミナー	7
	●特集「3万人会員増強運動②」	8-9
	●越谷市老連「創立50周年記念式典」／	10
	北本市老連「健康づくり ワナゲ・マグダーツ大会」	
	●川越市老連「会員増強のシンポジウム開催」	11
	所沢市長生クラブ連合会「第8回ところ長生まつり」	
	●寄居町老連「平成26年度 老人と子供のふれあい事業」／	12
	深谷市老連「たのしみを社会活動に「沖縄舞踊花園」	
	●蓮田市老連「蓮田市敬老会事業」	14
	朝霞市老連「第38回高齢者スポーツ大会」	
	●元気に活躍する会員さん紹介(北本市・深谷市)／編集後記	16



彩の国

平成26年度 第3回理事会

平成二十六年九月十二日（金）、彩の国すこやかプラザにおいて第三回理事会を開催しました。出席者は理事二十名、監事二名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・ 会長 高橋義一
- ・ 監事 西田禮三
- ・ 監事 野口元固

◆第一号議案「平成二十七年度県の予算編成に対する要望について」

左記の五項目を県に要望することと承認されました。

- 一 単位老人クラブに対する助成費の確保
 - 二 市町村老人クラブ連合会に対する助成費の確保
 - 三 県老連が行う健康づくり事業に対する補助金の確保
 - 四 県老連事務局職員体制の充実と運営に対する支援
 - 五 関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会開催事業費二十万円の補助（単年度事業）
- ◆第二号議案「平成二十六年年度県老連会長表彰被表彰者等の選考について」

以前に受賞した候補者を除いて全員を表彰することに決定しました。

◆第三号議案「広報委員会設置要綱の一部改正について」

委員の人数を八名以内から十名以内に変更することで承認されました。

◆第四号議案「平成二十六年年度埼玉県老人クラブ健康づくり大学『県老連役員との懇談交流会』の参加について」

左記の五名が参加することに決定しました。

- 山上三一、竹内榮一、亀田本二、大庭三智子、大久保留里子

◆第五号議案「平成二十七年版皇室カレンダーの斡旋について」

本多観光を通して一本千円（税込）で斡旋することで承認されました。

◆第六号議案「平成二十七年年度埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会の会場について」

埼玉会館が改修工事で使用できない為、別のさいたま市内の会場で開催することに決定しました。

◆第七号議案「平成二十七年年度関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会の内容について」

継続審議になりました。

仲間と共に、地域と共に輝いて

会員章を胸に活動の輪を広げて

老人クラブ会員章は、会員一人ひとりの意欲とクラブの誇りを示すシンボル。

そして仲間、連帯のしるしです。

あなたも会員章を胸に、地域の担い手としていきいきと輝きながら、クラブ活動を広げていきましょう。



—□ 1,000円

●末広鶴と日の丸

鶴（高齢者）が、両翼を扇（末広）状に広げて、日章（日本）を担っている図。すなわち高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭生活を支えてきたものであることを表す。

なお、両翼の張り出しは、高齢者の衰えぬ活動意欲を象徴する。

●色彩

内側の円（日章）が赤。外側の鶴が白。外周線を金色とする。

平成二十六年年度

新任単位クラブ会長研修会

平成二十六年年度、新任単位クラブ会長研修会が七月三十日午後一時より、彩の国すこやかプラザ・セミナーホールで、県内各地の新任会長百三十名と健康づくり大学の学生三十八名が参集して開催されました。

開会の言葉に始まり、高橋義一県老連会長から全国百万人会員増強が進められている中で、私どもは「総力を結集して、埼玉三万人会員増強を達成しましょう」のスローガンのもと、この五ヶ年間、各单位クラブで一年間に二名の純増、五年で一〇名の増員を目指し全会員が力を合わせて参りましょうと呼びかけられました。続いて全国老人クラブ連合会河



野敦子参事の講演。題は「老人クラブの現状と課題について」

講演の内容

は概略つぎのとおりであります。

一、老人クラブのはじまり

老人クラブの起源は、長寿を尊び祝う平安時代の「尚齒会」。さらに仏教伝来とともに日本に伝わったとされる相互扶助組織「講」にまでさかのぼる。

明治二十六年 博多高砂会（福岡県福岡市）。明治四十年 楽寿老人会（京都府亀岡市）。大正十四年 上田地区老人会（熊本県小国町）が設立され、現在の老人クラブの基礎が築かれた。

戦後の荒廃した社会にあつて「老後の幸せは自らの手で開こう」とする先覚者たちが、老後に不安を感じている友や、老後の問題に関心を寄せる人々に呼びかけ、次々と老人クラブが結成される。

初期の老人クラブは、孤独に陥りがちな高齢者たちの親睦の場としてスタートしたが、先覚者たちの共通の目的は、「高齢者が集い、生きがいを高めること」「行政や



社会に働きかけ、老人福祉を推進する世論を高めること」にあり、老人クラブの主張は次第に社会に受け入れられ、地域に根を下ろして現在の姿に発展して来たものと話される。

二、老人クラブの現状

全国の会員数は平成十年の八百八十七万人をピークに減少を続け、平成二十五年は六百四十九万人。二百万の減少を半分でも取り戻そうと百万人増強運動が始まる。

三、新たなメインテーマ

「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

○健康寿命をのばし、自立した生活、生きがいある生活の実現を。
○仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組む。

○他世代や関係団体と連携し、安全・安心の住みよい地域づくり。

○元気高齢者の知識・経験・活力を活かす場づくり・機会づくり。

四、百万人会員増強運動の推進

運動期間は平成二十六年年度から平成三十年度までの五ヶ年計画

五、よりよいクラブ活動のために

○情報の把握：月刊「全老連」、ホームページの活用。

○活動教材：リーダー必携など。

○安心・安全なクラブづくり：老人クラブ傷害保険の加入。

○仲間のしるし：会員章の普及。

○記録の整理・保存：「活動日誌」「会計簿」の活用。

講師は最後に、会員増強を再び呼びかけられました。

続いて山上一県老連副会長より講評があり、老人クラブの歴史と三万人増員のノー・ハウを教え、一人一人が初心に戻り真剣に取り組んでいきましょうと激励され有意義な研修会は、午後三時十分閉会。

春日部市 玉水 きみ子

平成二十六年

シルバースポーツ大会

十月十六日 熊谷スポーツ文化公園

夜来の雨もあがり、朝日が眩しい中、午前八時前というのにピンの音が動き廻る。マイクのテストが行われる。準備万端、九時三十分亀田県老連副会長の開会宣言、鈴木県福祉健康部長のあいさつに続き、高橋県老連会長の「ガンバルゼー」、「マケナイゼー」の檄に



★競技部門別表彰チーム★

◎ゲートボールの部

- 優勝 岩槻チーム (さいたま市)
- 準優勝 サクセス青葉 (川口市)
- 第三位 西堀皆友クラブ (さいたま市)

◎グラウンド・ゴルフの部

- 団体戦
- 優勝 羽生C (羽生市)
- 準優勝 川越B (川越市)
- 第三位 長瀬町A (長瀬町)
- 個人戦
- 優勝 野本貞夫 (羽生市)
- 準優勝 新城節子 (上尾市)
- 第三位 高岸修市 (秩父市荒川)

◎ペタングの部

- 優勝 梅の里 (越生町)
- 準優勝 秩父荒川 (秩父市荒川)
- 第三位 熊谷陣屋 (熊谷市)
- 第三位 片柳B (坂戸市)

◎ソフトテニスの部

- 優勝 長谷部弘・生井忠喜 (加須市加須)
- 準優勝 横川宏・島田君子 (熊谷市熊谷)
- 第三位 西井隆・松本幸子 (深谷市)
- 第三位 河村正・越智光枝 (加須市加須)

◎ワナゲの部

- 優勝 悠々クラブ狭山さわやか会 (狭山市)
- 準優勝 本庄B (本庄市)
- 第三位 深谷市Aチーム (深谷市)

◎マグダーツの部

- 優勝 上黒谷長寿クラブ (秩父市秩父)
- 準優勝 所沢市長生クラブC (所沢市)
- 第三位 南団地五月会 (北本市)

合わせて参加者千人の声競技場に響く。十時ころより六種目、四会場に分かれて競技開始。会場を一巡する。
ソフトテニス 熊谷スポーツ文化公園から5kmほどのさくら運動公園、会場は静かだ。コートを擦るシューズの音とレシーブの音だけが色づき始めた木々に吸い込まれる。ゲームを終えた選手のTシャツに汗が滲む。

グラウンド・ゴルフ 芝生をボールが走る。チン、見事なとまりに起こる歓声はハウルインワンだ。今年の参加者は百二十六チーム、三百七十八名に達した。歓声・嘆声入り交じるが選手の目付きはきつかった。
ペタング 会場を巡ったのは午前だったので、競技は静粛に行われていたが、ボール(ボール)を投げる手つきは慎重。目付きは明らかに午後の決勝トーナメントに向いていた。
ワナゲ 会場が天井の低い雨天練習場なので台に当たる輪の音が響く。例年上位を狙うチームには言い知れぬ気迫がある。得点が数千

になるので、記録係の慎重な目付きを感じた。
マグダーツ 会場はワナゲの隣。真剣に狙うので静かだ。中心にダーツが刺さると拍手だけ起こる。判定員の判定に見入る選手の眼がいやにきつく見える。
ゲートボール シルバースポーツ大会では、はじめての屋外のコート。芝生なのでちょっと勝手が違う選手もいるようだった。巡回したのは最後。コートの最後の試合に「コート優勝」を期した声が聞こえた。
大会は午後三時過ぎに、会場ごと閉会式を行う。
深谷市 小林 英

平成二十六年 県老連社交ダンス大会

平成二十六年度埼玉県老人クラブ連合会、社交ダンス大会が九月三十日（火）吉川市総合体育館において開催された。



で始まり、県老連高橋会長の主催者挨拶、吉川市連合長寿会浅見会長の歓迎の言葉があり、来賓として吉川市戸張市長、染谷教育長の祝辞、続いて役員の紹介がありセレモニーが終了した。

引き続きデモンストラレーションに入った。高橋祐貴、的場永実プロによる模範演技が四曲あり、さすがプロの流暢さに全員夢中で見入っていた。今日は約百五十名の参加があり、六つの連合会からのダンスタイムが実施され、本当に全員が楽しそうに広い会場で踊っている。ダンスとはこんなに楽しいものなのだと見直した。

続いて六チームによるフォーメーションが行われ、各チームとも日頃の練習の成果を大いに発揮され、すばらしい演技を披露し順位は本当につけがたく全チーム一位でもい

い位だった。終りに高橋プロの講評があり、県老連竹内副会長の閉会の辞で次回はより多くのチームが参加されることを願う閉会した。

松伏町 副島 秀夫



賞	チーム名
第1位 埼玉県老連会長賞	吉川市連合長寿会 文化部社交ダンス教室
第2位 吉川市連合長寿会 会長賞	所沢市長生クラブ 連合会ダンス部
第3位 審査員特別賞	和光市生きいきクラブ 連合会社交ダンス部
グッドルーティン賞	さいたま市ポピー ダンスクラブ
ビューティフル ライン賞	宮代町さわやか クラブ連合会
ベストドレスナー賞	吉川市連合長寿会 社交ダンススクール



女性リーダー「泊交流研修会

今年の記録的猛暑をのり越え少し秋の気配が感じられる九月四日（五日）、神奈川県老人クラブ連合会との交流に私達埼玉県女性委員会四十名程で箱根に向かいました。往きは小田原鈴廣にて昼食、午後には日本の伝統工芸、箱根寄木細工工房の見学。江戸時代よりこの地で創作される技法を現在に継承している由緒ある工房でした。特色のある木を素晴らしい模様とし製品化している日本人の技術の繊細さに改めて感激しました。

宿に着き、「老人クラブ百万人



会員増強運動」をテーマにした会議に入りました。神奈川県老連女性会議代表片岡光子氏、箱根町老連会長上野治巳氏より温かい歓迎の言葉を頂きました。ご好意感謝致します。神奈川県老連女性会議構成員を交えてのグループ討議に入りました。六班に分かれての約一時間半、活発なご意見、ご提案が出されました。各グループの発表に於ては、私達女性会員は明るく、生きがいのあるクラブを指し、会員増強の一助にしようという意気込みが感じられました。大変有意義な時間を共有出来たことを感謝します。

二日目は箱根神社参拝、大涌谷散策。山の天気は変わり易いが幸い雨にもぬれずに大涌谷を歩きました。帰り御殿場アウトレットに立ち寄り秋の一日を楽しんで全員無事埼玉に戻りました。

神奈川県老連事務局長さん、埼玉県老連事務局の皆さん大変お世話になりました。有難うございました。

戸田市 石川 みよ子

平成二十六年 女性委員会交流研修会

とちぎ健康の森で、平成二十六年十月二十四日（金）に女性委員会交流研修会が開催されました。昨日までの雨も止み、ぬけるような秋晴れ、すがすがしい青空、車窓から景色に酔っている間に研修会場に到着しました。

栃木県老連常務理事兼事務局長関川元樹様が笑顔でのお出迎えに、恐縮しながら研修会場に入りました。とちぎ健康の森は一敷地の中に、立派な建物が整備されているのに驚き、さらに施設が充実されていました。

十時三十分から講演
《議題》『女性リーダーに期待する会員増強策とは』

講師 栃木県老連常務理事兼事務局長 関川 元樹氏
スライドによる活動状況等、ご苦労、ご努力の講義がありました。



講師：栃木県老連常務理事 関川元樹氏
埼玉県でも共通する悩みは同じで、これから重要な

課題だと痛感しました。飯能市でも、女性リーダー一日親睦旅行を実施しております。好評で大勢の方々の参加があり、この機会に増員を呼びかける方法の手だてもあるのではと考えております。

研修も終了し、お楽しみお昼の時間です。那須 森のビール園にてバイキング、沢山のメニューで満腹、ゆとりの時間を過ごしました。

続いて、那須 平成の森を散策、御用邸の一部が開放された場所でオゾンを取り元気を貯えました。車窓から、遠く茶臼岳を望み、赤、黄と織りなす絨毯のような美しい紅葉におもわず歓声。最後の目的地 那須 ガーデンアウトレットで、買い物等楽しみ帰途に着きました。有意義な一日研修に感謝いたします。

飯能市 高野 伊九子



第三十六回 全国老人クラブ女性リーダーセミナー

十月二十一日～二十二日の両日新霞が関ビルに於て開催されました。生憎秋雨の天候でしたが、全老連常務理事齋藤秀樹氏、全老連副会長・女性委員長駒場玲子氏を始め事務局を含む参加百三十人の熱気溢れる会場でした。

「二日目」駒場女性委員長の挨拶、常務理事齋藤秀樹氏の基調報告、今回のテーマ「老人クラブ百万人増強運動」「高齢消費者被害防止キャンペーン」について報告があり、会員数の男女比女性が六割を占める現在、女性ならではの力を発揮し会員増強へ一層の努力を期待されました。

昼食後は二十五グループに分かれ、今回の標題について協議を行い活発に意見交換が行われました。まとめは二グループからの発表で「呼びかけ訪問」「行事への参加を促す」「啓発パトロール」等々他にも沢山の意見が出されました。「二日目」「高齢者の消費被害を防止するために老人クラブに期待すること」と題し全国消費生活相

談員協会常務理事柳川淑子氏の講演「伝える」「気にかける」「つなげる」等見守りサポーターの担い手として女性委員の活躍を期待する他有意義な内容でした。事例発表は、千葉県代表・中間久代委員、徳島県代表・吉尾さだえ委員より「女性の仲間意識を高めて会員を増やそう」「友愛訪問を通じて被害の防止」等実践活動の発表があり、実り多き研修会を齋藤常務理事の閉会の挨拶で終了しました。

久喜市 大西 悦子



大謝恩! 期間限定! 特別企画!

平成26年
11/20
～
平成27年
3/31

忘新年会プラン

10名様から送迎付!

土曜も休前日も
同料金!

1泊2食(税込)・傷害保険死亡時1000万円含

11,000円

うれしい!宴会時(2時間)

飲み放題!

- ・ビール・ジュース
- ・お酒・焼酎

もちろん!カラオケ付!

★温泉まんじゅうのお土産付!

全国旅行業協会(ANTA)会員・栃木県知事登録旅行業第3-695号

株式会社 旅らんど

〒320-0822 栃木県宇都宮市河原町7-5 フェニックス瑞雲508号室

028-688-8322 FAX 028-688-8323

総合旅行業務取扱管理者/金子 慎

営業時間 AM9:00～PM5:30 (定休日:土・日・祝日)

【企画実施】楽旅クラブ 茨城県知事登録旅行業2-618号
茨城県筑西市幸町3-15-11

個人宿泊から
団体旅行まで
予約・手配・コース作成は

お電話1本で!

長野県

戸倉上山田温泉

ホテル
雄山

埼玉県老人クラブ連合会
指定旅館

埼玉県
老人クラブ連合会
指定旅館受付窓口

総力を結集して、埼玉3万人

会員増強を達成しましょう！

平成26年～30年度5ヶ年計画

104号
特集

「3万人会員 増強運動」2

～いきいきとよさこびの輪を 広げよう～

市町村老連ごとに

独自のプランを作成しよう！

埼玉県老連では平成26年6月17日付、傘下の各市町村老連に「3万人会員増強運動の推進並びに運動計画を本年8月末までに提出」をお願いしており、会員増強運動の具体的な前進を期待するものです。

市町村老連の取り組む課題

- ◆ 会員増強運動推進委員会（仮称）の設置
- ◆ 老人クラブの実態把握
- ◆ 目標の設定
- ◆ 相談機関の強化
- ◆ 成果の発表

単位老人クラブの

取り組み体制への提案！

① 会員増強委員会（仮称）の設置

- 高年、女性、若手の複数名の代表者による委員会の設置
- 老人クラブの自己点検
- 地域内対象者の把握

② 計画設定・会員との合意形成

- 増強目標の設定
- 勧誘の具体策について合意形成

③ 町内会、自治会関係者との連携

- 計画の具体化に向けて町内会、自治会関係者の理解と連携

④ 勧誘・PR活動の推進

- 地域の加入対象高齢者への勧誘
- 市町村老連との協同による新たな老人クラブづくり

加入促進のキーワード

独自プラン作成の参考にしよう！

- | | | |
|-----------|------------|-----------------|
| * リーダーの意欲 | * サークル活動 | * 未加入者への情報提供 |
| * 活動の魅力 | * 自己点検 | * 相談支援体制の強化 |
| * 楽しい活動 | * 体験型加入促進 | * 新規事業の開発 |
| * 加入のメリット | * 地域行事への参画 | * 戸別訪問、口コミ、お誘い |
| * 地域支え合い | * 広報PR・HP | * 高齢者の生活を守る活動 |
| * 顕彰制度 | * 行政等の広報活用 | * 自治会や他団体との連携 |
| * イメージアップ | * 年代別の活動 | * いきいきサロンの実施 |
| * 若手人材の発掘 | * 若手・女性の活用 | * 未加入者へのアンケート調査 |
| * 活動の場づくり | * 行事オープン化 | * 未加入者リストの作成 |
| * 名称変更 | * 後継リーダー養成 | * 人材育成、役割分担 |

越谷市老人クラブ連合会 創立五十周年記念式典の開催

平成二十六年
七月十日(木)



越谷コミュニティセンター(サシテイ越谷)小ホールにおいて、越谷市老人クラブ連合会創立五十周年記念式典が盛大に開催されました。

来賓として高橋努市長、守屋亭議長、植竹勇越谷市社会福祉協議会会長、福澤辰幸越谷市社会福祉協議会常務理事など七名を迎え、三百十三名の会員さんのもと、清水絹代副会長のやさしくさわやかな司会で始まりました。清田幸治会長の挨拶では、「歴代の会長、役員会員さんに感謝。この団結力で六十周年を目指し、一歩前進をしていきたい。」とお話しをされ、リーダーのすばらしい意気込みと、責任感を感じました。県老連高橋義一会

長からは、「清田会長さんは、本会の評議員であり、なくてはならない人材です。越谷市老連の友愛活動等のすばらしい活動とその功績を讃えるとともに、今後の更なる発展を期待いたします。」との祝辞がありました。

来賓祝辞の後、永年貢献者表彰があり、代表として堀井宏一さんに授与され、感謝と決意みなぎる謝辞を述べられました。



第二部では、越谷市消防音楽隊の演奏があり、その美しい音色は、五十周年を荘厳に輝く歴史の一ページとして刻まれました。

結成当時から、これまで歴代の会長をはじめ、現会長のご指導のもとに数々の業績をつまみ、県老連事業にも多大なご尽力をいただき、深く感謝し、心から敬意を表します。事務局 落合 一弘

北本市老連《健康づくり ワナゲ・マグダーツ大会》 多勢の会員参加のもと競技開始

七月八日、

北本市老連では、北本市文化センターにおいて、百五十余名の参加者のもとワナゲ・マグダーツの競技が盛大に開催された。



会場は第一、第二室はマグダーツ、第三室はワナゲで、双方の会場とも満室の状態であった。

会長の挨拶につづき、スポーツ部会長の競技に対する意義、ならびに競技上のさまざまな注意点の説明があり、競技開始となった。

両会場には市老連役員が手際よく、プレーに対する審査並びに選手の世話にあたり、両会場とも速やかな流れであった。

《ワナゲ》皆さん単会において

も、日頃この競技を実施しておりますので、その手さばきは慣れたもので、姿勢正しくプレーされている姿は何と若者同様です。なかにはワンプレー堂々と、パーフェクトで飾った選手もいた。

《マグダーツ》マグネット・ダーツとして大変人気のあるゲームで、ワナゲと同様手順に行うことができ、最近、とみに盛んです。会場では狙いを定め、静かに行う者、力一杯投げてイレギュラー・バウンドしてしまう人、様々でしたがワナゲ同様ワンプレー五百点近い得点を確保して、絶賛を浴びた選手もいて会場を沸かした。

いずれにしろ、両競技とも真剣ななかにも笑いとときめきを感じながら、何にもまさる代えがたいひと時であった。

今後こうした催しが益々盛んになり、健康増進とともに、会員増強につながることを願いながら椎名主査と会場をあとにした。

北本市 佐田 一郎

川越市老人クラブ連合会 会員増強のシンポジウム開催

平成二十六年九月十日（水）午後一時から川越市民会館で県老連成田理事、事務局椎名主査出席のもと、川越市老連の各クラブの会長ら百六十名が表記シンポジウムに出席した。このシンポジウムは研修指導部が担当して本年度で十七回目となりここ数年喫緊の重要課題である会員増強について成功事例を発表している。まず帯津副会長で研修指導部長の司会により、飯島副会長の開会宣言に続き、原会長が歓迎の挨拶を行った。原会長は特に会員増強対策が重要であることを踏まえ、県老連から指示のある五ヶ年で三万人増強する計画について川越市の計画を具体的に数字をあげて説明し、出席者は熱心に聞き入った。続いてシンポジウムでは四人の発表者（順番に、第四支部・三久保三寿会会長吉田氏、第五支部・小仙波町一丁目第二白寿会会長川上氏、第六支部・南通町寿会会長工藤氏、霞ヶ関北支部・霞ヶ関北福寿会会長並木氏）が夫々会員増強の成功事例、

その苦勞、秘策などの説明を行った。そして、質疑応答では成功事例特に単年度で二十三人一挙に会員を増加させた戦略についても開陳され、会場は聞き耳を立てた。この質疑応答を受けて講師成田理事からは会員増強問題は自分の所属する春日部市でも同じように会員の減少傾向が続いており、難しい問題であるとの認識を述べた上で、川越市の四人発表者の成功事例は夫々特異な事例であり大変勉強になったなどと講評をいただいた。最後に、千明副会長がシンポジウムが成功裏に終了した旨お礼を述べて閉会となった。

今後会員増強策に具体的に取り組む際、自分達自身が健康づくりや楽しみづくりを種々折り込んでいくことが重要である。



川越市 工藤 憲一

所沢市長生クラブ連合会

敬老事業

第八回「ところ長生まつり」

「どなたでも参加し楽しめる敬老会」をテーマに所沢市長生クラブ連合会（山上三一会長）主催の八回目の敬老会が九月二十六日（金）所沢市民文化センターミューズ中ホールで約六百人が参加して開催されました。

式典では、山上三一所沢市長生クラブ連合会会長の挨拶のあと、所沢市・所沢市社会福祉協議会等の方々から祝辞をいただき、その他多く来賓が招かれました。つづいて八十八歳の米寿を迎えられた会員さんに「敬老賞」が贈られ、大きな拍手で祝福されました。

アトラクションでは、所沢中央文化幼稚園児による遊戯、劇や所沢市立並木小学校三、四年生によるリコーダー、合唱が披露され、客席から「かわいいね」「よく覚えてたね」と感嘆の声がしきりでした。

休憩のあと、議会開催中で式典の挨拶をできなかった藤本正人市長がかけつけ、老人クラブの社会的な貢献度が高いお話し等をいた

だき、皆さんの感謝の大拍手がこりました。

午後に入り、懐メロ紅白歌合戦があり、赤組と白組にわかれたプロ歌手が、懐メロを歌い、なつかしい歌声に、一緒に口ずさむ方もおりました。

なお、参加者の審判により、赤組の勝利となりました。その後、老人クラブ会員による踊りやフラダンス、ハーモニカ演奏がにぎやかに演じられ、最後にお楽しみ抽選会も行われ、敬老会は、なごやかな雰囲気の中に幕を閉じました。



事務局 落合 一弘

寄居町老人クラブ連合会
平成二十六年年度
老人と子供のふれあい事業

この事業は、寄居町から委託を受け、高齢者の社会参加活動の一環として始められました。「健康で長生き」するためにも、次代を担う若い園児達との交流は楽しく、多くの刺激を受け、これからの高齢者の生き方にも良い影響を与えることと思います。

さて、保育所等訪問の当日には各地域の老連理事や会員の方々が、定時に近くの保育所や保育園に集まってくれました。打ち合せどうりのご挨拶やお遊戯の後に輪投げ遊びや風船遊び、お手玉や折り紙などをし
て遊びました。ふ
と窓の外
を見ると
シャボン
玉を飛ば
して空高
く上げて
はしゃい
でいる園
児達を見



つけました。幸い天候にも恵まれて、園児や高齢者も共に楽しく遊んでいました。

各保育所、保育園を訪問して感じたことは、高齢者にはない元気な声と行動が、家ではほとんど聞かれませんので、園児達の活気溢れる行動に非常に新鮮さを感じました。

どの会場でも、終りが近づく頃、園児からのプレゼントが高齢者に贈られ感激しました。今の時代は「少子時代」であり子供達が非常に少ない時代です。いつの日か、もっと多くの子供達が保育所・保育園に入所する日を夢見て別れを告げました。

寄居町の保育所等事業視察報告

九月二日(火) 用土保育所
九月三日(水) 男衾保育所
城南保育所

ゆずの木保育園
九月四日(木) 寄居保育所
九月五日(金) こぶし保育園
いずみ保育園

寄居町 新井 正一郎

深谷市老人クラブ連合会
たのしみを社会活動に「沖縄舞踊花園」

老人クラブ活動を活性化するために、趣味のサークル活動で楽しい仲間づくりをすすめることが叫ばれ、それを実践しているのが、深谷市花園地区で活動する、「沖縄舞踊花園」(十七名)である。

このサークルが生まれたのは平成十三年、それ以来毎月第一・第二・第三の月曜日が地区の公民館で練習を行い、レパートリーは、天の恵を受けて生まれた我が子が健やかに育つよう祈る「童神」、かりゆし(めでたい)夜を月の下で踊り明かそうという「かりゆしの夜」、常夏の沖縄、今年も芭蕉の葉が熟れてきた、さあ上納の布を織ろうという「芭蕉布」、沖縄戦のひめゆり部隊となった沖縄女子師範の寮歌「美わしの琉球」など、三十曲を超える。

花園のみなさんが沖縄の舞踊に取り組むきっかけは、大里町(現熊谷市)が沖縄戦の最大の戦いがあった、南風原町の隣の大里村が姉妹提携を行い、大里町に沖縄舞

踊のグループが生まれ、教えていただいたことにある。

このように沖縄の舞踊を楽しむ花園のみなさんだが、ボランティア活動も積極的に行っている。範囲は主に深谷市や熊谷市・寄居町などの老人ホームや介護施設が中心だが、三十kmもある坂戸まで出掛ける。それは毎月三回、年間三十回以上になる。

そして沖縄の舞踊は「動きがゆったりしているので、身体が動く限り続けたい」とはサークル代表の田中利子さんの言葉である。

深谷市 小林 英



ほっこり温泉

老人クラブ、同窓会、趣味の会
自治会などグループ旅行に!!

安心! おまかせ! 楽しい温泉旅!

15名様より

(一部、10名又は20名より)

埼玉県内
← ホテル



- 貸切宴会
- 酒1本付
- カラオケ無料

送迎付き!

よい宿、よい風呂
た~くさん!!



★詳しい資料を
お送り致します

お気軽にお問い合わせ下さい。心を込めてご案内申し上げます。



あすなる観光

☎0493-59-8827

〒355-0004 埼玉県東松山市沢口町 30-7

埼玉県知事登録 旅行業第 2-1140 号 総合旅行業務取扱管理者/重田泰宏

蓮田市老人クラブ連合会

蓮田市敬老会事業



蓮田市老人クラブ連合会では、毎年、市内十三地区で実施される地区敬老会事業に参加しております。敬



老会事業は、地域での高齢者見守りの視点から概ね小学校区単位で、実行委員会形式で実施されております。実行委員会は、自治会、民生委員・児童委員協議会、老人クラブをはじめ地元の団体で組織されており、それぞれの地域の特徴ある会になっていると感じます。今年度の敬老会は、平成二十六年十月四日～十一月三日の間で、市内各地区の小学校体育館、公共施設等で開催されました。

十月五日(日)に黒浜南小学校区で開催された「黒浜南小学校区敬老会」は、特に老人クラブのかわりが強い敬老会の一つです。副実行委員長をとめる老人クラブ「みどり会」の仙波会長の開会

のあいさつで始まり、黒浜南小学校の児童さんの鼓笛隊演奏、地元の方々が中心のハワイアンダンス、舞踊、安来節と続き、参加者の皆様は、お菓子をつまみながら、和やかに鑑賞されていました。

当日は台風十八号の接近により朝から大雨で、参加される高齢者の方の安全確保が心配されましたが、実行委員の皆様の心配りだけがをされる方もなく、無事、会を終了することができました。

老人クラブは、誘導係として、参加者の方をお席にご案内する担当となっておりますが、同年代でもありますので、気軽に参加者に声をかけるなど、てきぱきとお席に案内する姿が見受けられました。

高齢化が進む中で、老人クラブの地域における役割はますます大きくなります。老人クラブ連合会として、これからもこうした地域の事業に積極的に関わっていくことが大切だと感じました。

蓮田市 鬼久保 健治

朝霞市老人クラブ連合会

第三十八回 高齢者スポーツ大会

十月十五日、朝霞市中央公園陸上競技場において、第三十八回高齢者スポーツ大会が朝霞市老人クラブ連合会の主催、朝霞市並びに朝霞市社協の後援により開催され、五百五十名の会員の参加がありました。

当日は午後には雨になると言う天気予報でしたが、十時に開会を宣言、大会長の挨拶、市長をはじめ来賓の祝辞並びに紹介があり、うめぼし体操の曲に合わせて準備体操をして、来賓による宝さがしをかわきりに、一番目の「パン食い競争」からスタート、二番目の「ボールはこび」の途中から雨が降り出し、このゲームが終わった所で中断、空模様を見ながら協議の結果、大会長は中止を宣言、翌日、十六日午前十時から再開することになりました。

十六日は朝から快晴に恵まれ、第三競技の「ジャンケンポン」から始まり、「魚つり」、「けつ圧測定」、第六競技の「夢に見たあなた」は今年から新しくなった競

技で男女四名づつが途中の番号札を拾い同じ番号同士が手をつないでゴールするものです。また、第七競技も「大玉ころがし」から変わった「落穂拾い」でカゴとトングを持ってスタートし落穂に見立てた玉入れの玉を五個カゴに入れてゴールする競技です。続いて「宝さがし」、「借り物競争」終了後、朝霞幼稚園の園児八十名による組体操が行われ、富士山、おまつり、ドミノ倒し等々難しい演技を披露し、たくさんの拍手を受けました。昼食後、最後の競技、クラブ別対抗の「玉入れ」が行われ、大熱戦の末一位から三位まで一点差で決まるといふ接戦でした。一人の怪我人も無く、副大会長の閉会の辞で楽しいスポーツ大会を終了いたしました。

朝霞市 南條 喜明



老人クラブ会員の皆さまへ

平成25年10月1日改定

ケガの 老人クラブ傷害保険のご案内

〈平成25年9月1日以降のお申込みから適用〉

総合型 〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉

年間掛金	3,500円		5,000円		10,000円	
ケガをした時の状況	クラブ活動型	24時間型	クラブ活動型	24時間型	クラブ活動型	24時間型
補償内容	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金	45万円	91万円	85万円	109万円	170万円	217万円
	136万円		194万円		387万円	
後遺障害保険金 <small>(注1)</small>	45万円	—	85万円	—	170万円	—
	45万円		85万円		170万円	
入院保険金日額 <small>(注2)</small> <small>(1事故につき30日限度)</small>	1,000円	750円	2,000円	950円	4,000円	1,900円
	1,750円		2,950円		5,900円	
通院保険金日額 <small>(1事故につき30日限度)</small>	650円	500円	1,300円	700円	2,600円	1,400円
	1,150円		2,000円		4,000円	

クラブ活動中のケガの場合は、**白地** + **薄いグレー** の合計 **黒色** の補償額が支払われます。

クラブ活動中以外のケガの場合は、**薄いグレー** のみの補償額が支払われます。

※「総合型」の掛金・補償額は、職種別A(無職、事務職等)の方を対象にしたものです。職種別B(農林業作業等)の方は、補償額が変更になりますので、詳細につきましては、取扱代理店もしくは引受保険会社までお問い合わせください。

クラブ活動型 〈クラブ活動中とその往復途上(注3)のケガを補償します。〉

年間掛金	500円		1,000円		2,000円	
ケガをした時の状況	クラブ活動型	24時間型	クラブ活動型	24時間型	クラブ活動型	24時間型
補償内容	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金	45万円	補償なし	85万円	補償なし	170万円	補償なし
後遺障害保険金 <small>(注1)</small>	45万円		85万円		170万円	
入院保険金日額 <small>(注2)</small> <small>(1事故につき30日限度)</small>	1,000円		2,000円		4,000円	
通院保険金日額 <small>(1事故につき30日限度)</small>	650円		1,300円		2,600円	

クラブ活動中のケガの場合は、**白地** のみの補償額が支払われます。クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)

※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍また入院中は、10倍となります。

※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

公益財団法人 **全国老人クラブ連合会** 保険係

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8769
FAX番号 03-3597-8767

03-3597-8770

受付時間 9:30~17:20
(土、日、祝祭日、年末年始休)

〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社
(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日改定)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認いただけます。

13-T-03782 平成26年4月作成

元気に活躍する
会員さん紹介



北本市老人クラブ連合会
本町ふるさと会

渡辺 芳子さん

何事も真剣に



笑顔いっぱい
の渡辺さんは、
長崎県佐世保市
に誕生、地元佐
世保市の女学校
を優秀な成績で卒業後、昭和十八年
に海軍第一施設部（上海）に勤務、
終戦後、地元、佐世保市の銀行に勤
務して戦後の殺伐とした環境の中
にありましても、何か穏やかな日々を
過ごすごことが出来ました。

その後、結婚・出産と明るい人生
行路を過ごすなか、若き日からの趣
味でありました洋裁、和裁、編物、
読書と。お子様の成長・独立を機に
住みなれた川口の地を離れ、縁あつ
てこの北本の地に移り住み四十年、
第二のふるさととしてこよなく北本
を慈しみをもって愛しているおひと
りではないでしょうか。そして、書

道、俳句、水彩、油絵などに至つて
は、三十余年の経験を積み、北本文
化センター、北本社会福祉センター
などさまざまな公共機関に出品され、
心ある楽しい生活をチャレンジいた
しております。

また、学問のみならず、運動にお
きましても長期にわたり、ゲートボ
ールをやられ、自他ともに許した十
八年のキャリアアウーマンは何と素晴
らしい腕前でございます。

そして、先ほどの習い事もそれぞ
れ三十年もの腕前で、様々な展示場
にその賑わいを傾けております。元
来、好奇心旺盛な方で、絵画、俳句
に至りましても、関心そのものでご
ざいまして、常に教えを仰いでおり
ます今日この頃でございます。今
後も私達の道しるべとして、ご活躍
下さいます事を心から願っております。
北本市 佐田 一郎

深谷市老人クラブ連合会

亀山 米子さん

深谷市老連に初の女性副会長



女性の活躍の
場を広げる事が
叫ばれている折、
平成二十六年二
月二十四日の女

性リーダー研修会での駒場女性委員
長の、「老人クラブ会員の六割を占
める女性が頑張つて…」の言葉。さ
らに当日！元全老連の鈴木五郎氏は、
「女性リーダーに期待」と述べてい
る。

それに相応しい女性が深谷市の亀
山米子さんである。

保守性の強い地域のために、女性
の老人クラブ幹部の例は無かったが、
今年度、深谷市藤沢地区の十六の連
合体である藤沢白寿会（藤白会）の
会長及び深谷市老連副会長になつた
のが亀山さん。

亀山さんの老人クラブ員の経歴は
十年を超える。ゲートボールやグラ
ウンドゴルフに親しみ、その他地域
の行事に参画し、深谷市老連の祭典
「芸能の集い」を盛り上げる司会な
ど活躍の場は広い。

すでに深谷市老連理事を十一年努
めているが、若さに溢れる感じから
さらにさらに努められそう。

個人的には「八千代彩美扇」の名
を持つ踊り手であり、長男が懐石の
料理店を経営、次男が高校の教師を
勤める。

この亀山さん、今後老人クラブ役
員として、「高齢者が生き生きした
日々を送れるよう社会貢献してい
たい」とのこと。

深谷市 小林 英

編集後記

今年の九月は、台風十八号・十九
号と連続して日本本土を縦断し、埼
玉県は北部地方に被害が集中した。

同じ頃に、長野県と岐阜県境にあ
る御嶽山（三〇六七メートル）が噴
火して、登山者五十七人が死亡、六
人が行方不明の大惨事となった。噴
火の予知は難しいとの当局談話がテ
レビで報じられたが、自然災害を避
けるシステムを早急に確立して欲し
い。

近年、残念なことに、埼玉県内の
老人クラブ会員の減少が続いている。
全国的にも、最近十年間で二百万人
が減少している。「今年から五年間
で百万人の会員増を目指すよう」全
国老人クラブ連合会が各都道府県に
檄を飛ばしている。埼玉県老連の試
算では、各単位クラブが年間二人の
会員増を五年連続（十人）すれば、
埼玉県内で三万人の増加で目標達成。
難しい問題だが避けて通れ無い。
各単位クラブ会長は会員と共同して
努力と根気で、新会員の獲得に励む
ことを願う。

春日部市 成田 準之助

「彩愛クラブ埼玉」

の発行には、共同募金
の配分を受けています。

